

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|--------------------------------------|--|---|--|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 18 23 37 38 48 | 利用者様主体のケアを行うにあたり、自己にてできることを見極め、利用者様ができることを支援しすぎることなく必要な支援を行うことができるようにする必要がある。 | 利用者様主体のケアとは何かを改め、職員間での意識と支援の統一を行い、尊厳ある生活支援を行う。 | 利用者様の個々の評価シートを使用し、できることの可視化と情報提供をすることで意識の統一を図る。また、定期的に評価シートを使用することにより利用者様の状態を把握する。 | ヶ月 |
| 2 | 2 3 29 38 48 49 55 | コロナ禍で最低限の散歩への外出しか外へ出る機会を持つことができなかった。今後社会資源を活用し外出する機会を作り日常生活にメリハリをつけ下肢筋力を低下させない必要がある。 | 買物、図書館など散歩以外に日常的に外出する時間と機会を作り、下肢筋力を低下させない生活支援を行う。 | 日々の生活の中で買い物や図書館など地域資源を活用できるようなところへ行く機会を作り、散歩外出チェック表を活用し偏りがないように把握する。 | ヶ月 |
| 3 | 35 | コロナ禍で最低限しかできていなかった防災訓練について定期的に行うことができるようにする必要がある。また災害の際に使用する発電機は用意されているものの、職員も使用の仕方が分からないため誰でも使用できるようにする必要がある。 | 2か月に1度の防災訓練を再開し定期的に訓練を行う。また、その中で発電機の使用方法について、いざというときに使用できるよう訓練の中に組み込んでいく。 | 定期的な避難訓練を行いいざというときの動きの確認を早急に行い、水害の際に必要な他事業所への避難についても訓練を行い問題点の洗い出しを行う。 | ヶ月 |
| 4 | | | | | ヶ月 |
| 5 | | | | | ヶ月 |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。